

ほんがいっぱい よんでみよう！

ねんせい ほん
1・2年生のための本



① 『ぼくは王さま』

寺村輝夫／作 和田誠／え 理論社《AFテ》

王さまは、ふんわりあまいたまごやきがだいすき。あるとき、王子さまが生まれたおいわいに、国じゅうの人にたまごやきをごちそうするといいだした。たまごがたりないけど、王さまは「ぞうのたまごがあればかんたんさ」といって…。



② 『パインさんのごちゃませかんばん』

レオナード・ケスラー／さく
小宮由／やく 大日本図書《AFケ》

かんばんやのパインさんは、町ちようさんから町中のかんばんをつくりかえてほしいとたのまれました。すべてのかんばんをかきおえて、つけかえる日のあさ、パインさんのメガネが見あたりません。しかたなくメガネなしでつけかえると、町はとんでもないことに！



③ 『こぎつねキッペのそらのたび』

今村葦子／作 降矢奈々／絵 ポプラ社《AFイ》

そらをとびたい こぎつねのキッペ。りょううでをふりまわしますが とべません。キッペは、くたびれてしまい やなぎの木にこしをおろしました。すると、やなぎの木にはねとばされて、そらをとんだのです！でも、川にむかっておちていき…。



④ 『図書館のぬいぐるみかします 2』

シンシア・ロード／作
ステファニー・グラエギン／え
田中奈津子／訳 ポプラ社《Fロ》

図書館にいる、ちいさなぬいぐるみのマルコ・ポーロはネズミがぼうけんするおはなしがだいすき。あるひ、セスという男の子がマルコを図書館からかりて、ともだちのいえのおとまりかいにつれていってくれることになり…。



⑤ 『はじめてのキャンプ』

林明子／さく・え 福音館書店《AFハ》

となりのともこおさんが、おおきな子たちとキャンプに行く。なほちゃんもいきたい！おもいにもつも持てるし、ぜったいになかない。まきだつてあつめるし、くらくなくてもこわがらない。はじめてのキャンプ、うまいくかな？



⑥『ねずみのとうさんアナトール』

イブ・タイタス／文 ポール・ガルドン／絵
はるみこうへいやく どうわかん
晴海耕平／訳 童話館《Eガ》

ねずみのアナトールは、人間にきらわ
れているのを知って、ショックをうけま
した。そこで、ぬすむだけではなく、お
かえしをすることに…。さて、チー
ズ工場にもぐりこんだアナトールの、
すばらしいかんがえとはなんですか？



⑦『ひみつのとっくん』

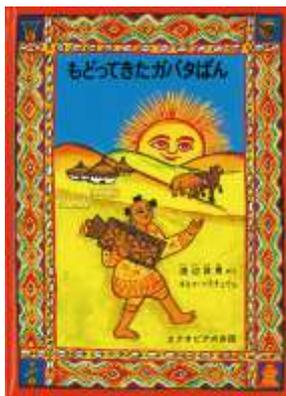
くどうじゅん こ さく たなかくろくだい え きん ほししゃ
工藤 純子／作 田中六大／絵 金の星社《AFク》

ぼくは、体育がだいっきらい！きょうは、い
ちばんにがてな さかあがり。先生が体育着の
ズボンをつひっぱると さかあがりが出来た！
でも、おしりが丸見えで、みんなにわらわ
れてしまい…。

⑧『もどってきたガバタばん』

わたなべしげ お
渡辺茂男／やく ギルマ・ベラチョウ／え
ふくいんかんしよてん
福音館書店《M》

あるひ、おとこのこが、おとうさんがつく
てくれたガバタばんをもって うしをおって
いくと、かわらでひをおこそうとしているおと
こたちにあいました。おとこのこがガバタばん
をさしだすと、おとこはもしてしまいましたが…。



⑨『ちいさいおうち』

ばーじにあ・リー・ぼーとん／ぶんとえ いいももこ／やく いわなみしよてん
岩波書店《Eハ》

むかし、しずかないなかに、ちいさいお
うちがありました。りんごの木やはたけにか
こまれて、しあわせでした。ところが、で
んしゃがとおり、おおきなビルがたつて、
ちいさいおうちにはおひさまもほとん
どみえなくなりました。



⑩『せがのびる』

やぎゆうげんいちろう／さく ふくいんかんしよてん
福音館書店《49》



きみたちがあかちゃんだったとき、か
らだはとても小さかった。それから、ど
んどん大きくなっていったよね。それ
は、ほねが大きくなったから。ほねは、
たべたりのんだりしたものからつく
られるんだ。せがのびるひみつをさぐ
ってみよう！

⑪『シロツメクサはともだち』

すずきじゅん ちよ さく ブロンズ新社《47》
鈴木 純／著

みち 道ばたにさいている花、シロツメク
サ。ひとつのまあるい花に見えるけど、
小さい花があつまってまんまるにな
るんだ。いくつの花があつまっている
のかな？



⑫『どうぶつはやくちあいうえお』

きしだえりこ／作 かたやまけん／え
のら書店《我》
岸 史代りこ／作 かたやま 健／絵



“こぶたぶつたらたんこぶできたぶうぶう”
こんなはやくちことば、知ってる？あ
いうえお…のじゅんばんで、いろい
ろなどうぶつが出てくるんだよ。ゆ
かいなはやくちことばがいっぱい。